



浦安の子どもたちのために様々な場面で活躍してくださっている方たちを紹介します。



青少年補導員



浦安市青少年補導員連絡協議会の方にインタビューしてみました。

青少年補導員はどのような活動をしているのですか？

森本 中学校のブロックごとに行う地区パトロールが主な活動です。私の地区では夜に行くことが多いのですが、午前中や夕方に行っている地区もあります。子どもたちの登下校や公園で遊んでいる様子を見守り、危険なところがあったら青少年センターに連絡しています。

大滝 補導員という悪いことをしている人を補導するというイメージがありますが、警察との役割分担は明確になっており、私たちの目的はあくまでも言葉がけによって子どもたちを守ることです。ですが



ら「補導員」という名称とは別に、活動内容が分かりやすくなるように「みまもり隊」という名前を使い始めました。

パトロールの時に気を付けていることは何ですか？

森本 一言で言えば子どもたちへの言葉がけです。夕方になっても遊んでいる子がいたら「早く帰ろう」とか、自転車の無灯火走行を見かけたら「あかりをつけよう」といった具合に言葉をかけます。子どもたちの安全、そして地域を見守るためにパトロールをしています。



この活動の意義や重要なことは何だと考えますか？

森本 子どもたちへの言葉がけを「愛のひと声」とも呼んでいます。大事なことは大人がきちんと見



白の上着に黄色い帽子で地域を見守る「みまもり隊」(現在107名)

守っているよという安心感を子どもたちに伝えることだと考えます。こうした地道な活動の継続が青少年の健全育成につながっていくのだと思います。

大滝 見守り活動には大人と子どもたちのコミュニケーションを深める効果もあるのではないのでしょうか。「へえーすごいね」という感じで話しかけると、子どもたちから様々な言葉が返ってきます。こうした地域での日常的なコミュニケーションは「地域は地域で守る」という考え方が基本だと思います。また、このことは私のやりがいにもなっています。



取り組み

パトロール

青少年補導員は、主に中学校のブロックごとに毎月定期的にパトロールを実施しています。また、お祭りや花火大会などの市の行事や学校の始業式に合わせてパトロールしています。



▲堀江中学校区の地区パトロール

▲富岡中学校区の早朝パトロール

ブロック会議

青少年補導員には、学校の教員や保護者など様々な立場の方がいます。ブロック会議では、パトロールを行う日程や子どもたちの学校や家庭での様子などについて情報交換をしています。



▲ブロック会議の様子